

パスウェイ解析ソフトウェア iPathwayGuide



iPathwayGuide は、RNA-Seqやマイクロアレイで得られた遺伝子発現比較データを使用してパスウェイやGene Ontology情報を特定するクラウド型の解析プラットフォームです。メーカー独自の「Impact Analysis」アルゴリズムは、競合他社よりも深く包括的な解析を提供する定評あるアプローチであり、誤検出を回避しながら生物現象を特定する能力を向上させます。

遺伝子発現比較データの解釈を手助け



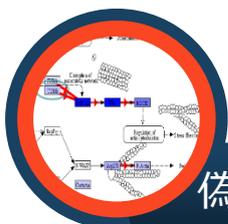
RNA-seqやマイクロアレイの遺伝子発現比較データのテーブルだけでは表現型の変化の全てを推察することは困難です。

iPathwayGuideは頭の中で思い描いた研究のストーリーをほぼ自動的に答えることができます。

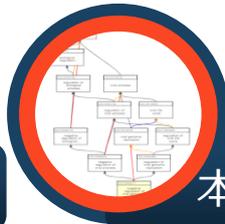


「被験者を薬剤Xで治療することにしたなら、このメカニズムはどう影響するのか」

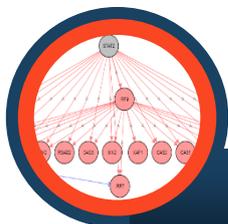
「MAPK経路に関与し、細胞膜に存在する発現変動遺伝子は、アポトーシスにどのように影響するのか」



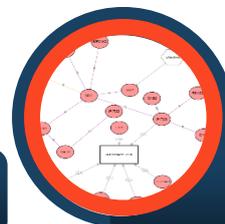
偽陽性の少ないパスウェイ結果



本当に重要な少数のGO結果



上流の重要な調節因子



ネットワーク図作成

優れた解析アルゴリズムと視覚化

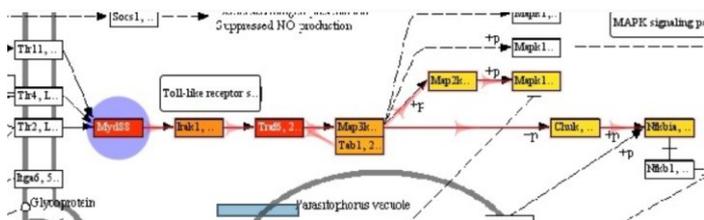
複雑なパラメータ設定はなく、遺伝子発現比較データをアップロードするだけで、パスウェイ解析のほか Gene Ontology解析などデータセットをより深く理解するための、様々な結果にアクセスすることができます。多数査読付き出版物に引用実績があり、**世界中で利用されている実績の高い解析ツール**です。



YouTube動画で解析機能をご紹介します
「6分でわかるパスウェイ解析ソフトウェア iPathwayGuideのご紹介」



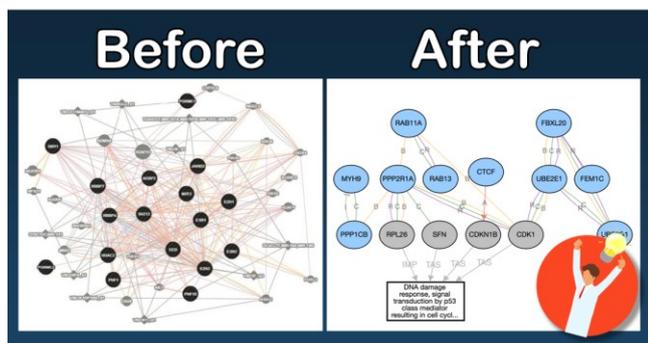
<https://youtu.be/GRxXW21rmCs?si=HAt5AB-afbjQHhp>



遺伝子相互作用を加味

iPathwayGuideはシステム生物学的アプローチを用い、すべてのパスウェイ上の遺伝子の種類、機能、相互作用を解析に含む**唯一**のパスウェイ解析ツールです。

遺伝子の相互作用を加味したカスケードをパスウェイ上に表示し理解を深めます。



出版可能な図を簡単に作成

視覚化のために作図できるツールは多くありますが、iPathwayGuideは**解釈のしやすさも考慮された**作図が可能です。

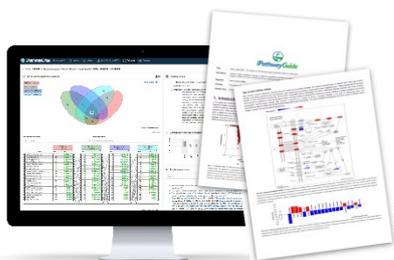
ネットワーク図が複雑に絡み合うことなく表現型の変化を作図することができます。



大量のGO 解析結果に
お悩みですか？

優れた解析機能

Gene Ontologyでは、数千のtermのリストを1つずつ下に見ていくことなく、独自の補正で真に影響を及ぼすGO termにたどり着くことができます。
パスウェイ解析だけでなく、**上流で影響を及ぼす因子**や関連する**miRNA**の予測や、複数の遺伝子発現データにわたる**メタ分析**など高度な解析がサポートされています。



関連する文献を調べる必要はありません

検出された遺伝子に関する**最新の論文情報**にアクセスできるため、迅速に研究を進めることに役立ちます。
また、iPathwayGuideの結果は**ライセンスを持っていないユーザー**にも共有することができます。